

令和7年度
福岡市公共交通不便地対策事業
(オンデマンド交通)

提案審査結果 (評価講評)

令和8年2月13日

福岡市

目次

1	評価の方法	1
2	提案評価委員会の構成	1
3	提案評価委員会の開催経過	1
4	資格審査等	2
	（1）応募資格審査	2
	（2）要求水準の適合審査	2
5	評価の結果	2
	（1）内容評価	2
	（2）価格評価	7
	（3）加点	7
	（4）総合評価	8
6	最優秀提案者の決定	9

1 評価の方法

市は、応募者から提出された企画提案書について、公募要綱に従い、応募資格及び要求水準の適合審査を行いました。

応募資格及び要求水準の適合審査を通過した提案は、評価の公平性及び透明性を確保し、広く専門的かつ客観的な視点から評価等を行うため設置した「福岡市生活交通確保に係る事業提案評価委員会」（以下「提案評価委員会」という。）において提案内容を評価するとともに、市において提案価格を評価のうえ、総合的に評価を行いました。

2 提案評価委員会の構成

提案評価委員会の構成は、以下のとおりです。

区分	氏名	所属・役職
委員長	稲永 健太郎	九州産業大学 理工学部 情報科学科 教授
副委員長	松永 千晶	福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 准教授
委員	藤田 和子	公認会計士・税理士
委員	小林 由希子	市民局 コミュニティ推進部長
委員	松岡 淳	住宅都市みどり局 都市計画部長

(敬称略)

3 提案評価委員会の開催経過

提案評価委員会の開催経過は、以下のとおりです。

日程	会議名	主な議題
令和7年9月29日	第1回 提案評価委員会	・公募概要について ・評価基準について
令和7年11月28日	第2回 提案評価委員会	・応募者ヒアリング ・内容評価

4 資格審査等

(1) 応募資格審査

令和7年11月11日までに、1グループから応募申込書等の提出があり、公募要綱に示す応募資格要件について、市が審査した結果、応募資格を有していることを確認したため、令和7年11月18日付けで、応募資格の審査結果を応募者へ通知しました。

(2) 要求水準の適合審査

応募資格審査を通過した応募者から提出された企画提案書の内容について、公募要綱及び要求水準書における提案条件を満たしていることを市が確認しました。

5 評価の結果

企画提案書の提出があった1グループについてグループ名を「S」とし、Sグループからの提案のうち、エリア①の提案を「提案15」、エリア②の提案を「提案31」、エリア③の提案を「提案47」、エリア④の提案を「提案55」とし、提案評価委員会において内容評価を、市において価格評価を実施しました。

(1) 内容評価

提案評価委員会において公募要綱に示す評価項目及び配点表に基づき、エリア①・エリア②・エリア③・エリア④の順番で評価を行いました。

応募			提案
グループ名	エリア	候補地域	
S	①	美和台・和白東・三苫・和白校区	15
	②	鶴田・老司・弥永西・弥永・日佐・野多目校区	31
	③	小笹・笹丘・長尾・田島校区	47
	④	片江・金山・七隈・南片江校区	55

内容評価については、以下の5つの評価区分の基準により評価を行い、計算にあたっては、小数点以下を四捨五入としました。

図表 内容評価における点数付与基準

評価区分	判断基準	加算割合
A	非常に優れている	配点×1.00
B	優れている	配点×0.75
C	適切な提案がなされている	配点×0.50
D	やや劣っている	配点×0.25
E	劣っている	配点×0

(参考)評価項目及び配点表

提案項目		評価項目	評価基準	配点	
内容 評価 【800点】	1. 実施体制 【400点】	(1) 実施計画・体制	●本事業の趣旨に基づき、市や地域と共働で主体的に 取組む計画となっているか ●安定的な運行が可能な体制が示されているか ●地域に根ざした運行が可能か	150	400
		(2) 安全性確保	●乗務員管理や緊急時対応、要望・苦情対応に対する 考えや体制が示されているか	50	
		(3) 事業性確保	●運賃外収入確保と経費削減の取組みが提案されてい るか ●継続的な取組みの実現に向けた体制が示されてい るか	100	
		(4) システムの特徴・ 仕様	●利用者の状況や需要に応じた運行の効率化、停留所 の追加対応など、拡張性を持ったシステム構築が可 能か	50	
		(5) システムの実績	●類似事業の実績はあるか	50	
	2. 利便性向上 【250点】	(1) 乗車受付	●利用しやすい乗車受付方法が提案されているか	50	250
		(2) 決済	●利用しやすい決済方法が提案されているか	50	
		(3) 車両	●利用者の利便性や快適性を加味し適切な車両が提案 されているか	100	
		(4) 利便性向上策	●利便性向上の取組みが提案されているか	50	
	3. 利用促進 【150点】	(1) 利用促進策	●認知度向上による利用促進の取組みが提案されてい るか	100	150
(2) 利用の把握・ 分析		●運行改善に向け、分析等に必要な項目と把握の手法 などが提案されているか	50		
価格 評価 【200点】	4. 価格 【200点】	(1) 提案価格	●提案価格の比較 下記の算定方法により、提案価格が低いものを評価 【算定方法】 価格評価点 = 最低価格 ÷ 提案価格 [*] × 配点 [*] 提案価格 = 初期経費 + 運行経費 × 3年	200	200

【エリア①東区】

提案された「提案 15」の内容評価の結果は、以下のとおりです。

提案項目	評価項目	配点	提案	エリア①東区				
				委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤
1. 実施体制	(1) 実施計画・体制	150	提案15	C	C	C	C	C
	(2) 安全性確保	50	提案15	C	C	C	C	C
	(3) 事業性確保	100	提案15	B	C	C	B	B
	(4) システムの特徴・仕様	50	提案15	B	B	B	B	B
	(5) システムの実績	50	提案15	A	B	A	A	A
2. 利便性向上	(1) 乗車受付	50	提案15	B	C	B	C	C
	(2) 決済	50	提案15	B	B	A	A	B
	(3) 車両	100	提案15	B	B	A	B	B
	(4) 利便性向上策	50	提案15	C	B	B	C	B
3. 利用促進	(1) 利用促進策	100	提案15	B	C	B	B	B
	(2) 利用の把握・分析	50	提案15	C	B	C	C	C

【エリア②南区】

提案された「提案 31」の内容評価の結果は、以下のとおりです。

提案項目	評価項目	配点	提案	エリア②南区				
				委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤
1. 実施体制	(1) 実施計画・体制	150	提案31	C	C	C	B	C
	(2) 安全性確保	50	提案31	C	C	C	C	C
	(3) 事業性確保	100	提案31	B	C	C	B	B
	(4) システムの特徴・仕様	50	提案31	B	B	B	B	B
	(5) システムの実績	50	提案31	A	B	A	A	A
2. 利便性向上	(1) 乗車受付	50	提案31	B	C	B	C	C
	(2) 決済	50	提案31	B	B	A	A	B
	(3) 車両	100	提案31	B	B	A	B	B
	(4) 利便性向上策	50	提案31	C	B	B	C	B
3. 利用促進	(1) 利用促進策	100	提案31	B	C	B	B	B
	(2) 利用の把握・分析	50	提案31	C	B	C	C	C

【エリア③中央区・城南区】

提案された「提案 47」の内容評価の結果は、以下のとおりです。

提案項目	評価項目	配点	提案	エリア③中央区・城南区				
				委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤
1. 実施体制	(1) 実施計画・体制	150	提案47	C	C	C	B	C
	(2) 安全性確保	50	提案47	C	C	C	C	C
	(3) 事業性確保	100	提案47	B	C	C	B	B
	(4) システムの特徴・仕様	50	提案47	B	B	B	B	B
	(5) システムの実績	50	提案47	A	B	A	A	A
2. 利便性向上	(1) 乗車受付	50	提案47	B	C	B	C	C
	(2) 決済	50	提案47	B	B	A	A	B
	(3) 車両	100	提案47	B	B	A	B	B
	(4) 利便性向上策	50	提案47	C	B	B	C	B
3. 利用促進	(1) 利用促進策	100	提案47	B	C	B	B	B
	(2) 利用の把握・分析	50	提案47	C	B	C	C	C

【エリア④城南区】

提案された「提案 55」の内容評価の結果は、以下のとおりです。

提案項目	評価項目	配点	提案	エリア④城南区				
				委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤
1. 実施体制	(1) 実施計画・体制	150	提案55	C	C	C	B	C
	(2) 安全性確保	50	提案55	C	C	C	C	C
	(3) 事業性確保	100	提案55	B	C	C	B	B
	(4) システムの特徴・仕様	50	提案55	B	B	B	B	B
	(5) システムの実績	50	提案55	A	B	A	A	A
2. 利便性向上	(1) 乗車受付	50	提案55	B	C	B	C	C
	(2) 決済	50	提案55	B	B	A	A	B
	(3) 車両	100	提案55	B	B	A	B	B
	(4) 利便性向上策	50	提案55	C	B	B	C	B
3. 利用促進	(1) 利用促進策	100	提案55	B	C	B	B	B
	(2) 利用の把握・分析	50	提案55	C	B	C	C	C

各委員の評価結果に応じて、点数付与基準を各評価項目の配点に乗じて算出した内容評価の点数は以下のとおりです。

提案項目	評価項目	配点	エリア①	エリア②	エリア③	エリア④
			提案15	提案31	提案47	提案55
1. 実施体制	(1) 実施計画・体制	150	75	83	83	83
	(2) 安全性確保	50	25	25	25	25
	(3) 事業性確保	100	65	65	65	65
	(4) システムの特徴・仕様	50	38	38	38	38
	(5) システムの実績	50	48	48	48	48
実施体制 小計		400	251	259	259	259
2. 利便性向上	(1) 乗車受付	50	30	30	30	30
	(2) 決済	50	43	43	43	43
	(3) 車両	100	80	80	80	80
	(4) 利便性向上策	50	33	33	33	33
利便性向上 小計		250	186	186	186	186
3. 利用促進	(1) 利用促進策	100	70	70	70	70
	(2) 利用の把握・分析	50	28	28	28	28
利用促進 小計		150	98	98	98	98
内容評価点 (A)		800	535	543	543	543

(2) 価格評価

提案価格の評価は、応募者から提出された「初期経費に係る提案価格」及び「運行経費に係る提案価格」より市が評価を行いました。

提案価格は、以下の式より算出しました。

提案価格

$$= \text{初期経費}_{(円)} + \text{運行経費}_{(円)} \times 3 \text{年}$$

提案価格の評価点は、以下の計算式に基づき市が算出しました。

提案価格の評価点

$$= \text{配点} \times \text{最低提案価格}_{(円)} / \text{提案価格}_{(円)}$$

価格評価点の計算にあたっては、小数点以下を四捨五入としました。

価格評価の結果は以下のとおりです。

	配点	エリア① 提案15	エリア② 提案31	エリア③ 提案47	エリア④ 提案55
価格評価点	200	200	200	200	200

(3) 加点

配点（50点）に、下表に示す最優秀提案数となった数に応じた割合を乗じ、加点を算出しました。

図表 加点における点数付与基準

最優秀提案となった数	割合	加算点
0	1.0	50点
1	0.5	25点
2	0.25	12.5点
3	0	0点

※同一の構成員（「マネジメント業務」及び「運行業務」、「システム設定・運用業務」を対象）による応募に対し割合を乗じるものとし、同一資本の企業は同一構成員として見なす

加点の点数は以下のとおりです。

	配点	エリア① 提案15	エリア② 提案31	エリア③ 提案47	エリア④ 提案55
加点	50	50	25	12.5	0

(4) 総合評価

提案評価委員会による内容評価点、市による価格評価点の合計点数に、加点を加えた「総合評価点」を算出しました。

提案項目	評価項目	配点	エリア①	エリア②	エリア③	エリア④
			提案15	提案31	提案47	提案55
1. 実施体制	(1) 実施計画・体制	150	75	83	83	83
	(2) 安全性確保	50	25	25	25	25
	(3) 事業性確保	100	65	65	65	65
	(4) システムの特徴・仕様	50	38	38	38	38
	(5) システムの実績	50	48	48	48	48
実施体制 小計		400	251	259	259	259
2. 利便性向上	(1) 乗車受付	50	30	30	30	30
	(2) 決済	50	43	43	43	43
	(3) 車両	100	80	80	80	80
	(4) 利便性向上策	50	33	33	33	33
利便性向上 小計		250	186	186	186	186
3. 利用促進	(1) 利用促進策	100	70	70	70	70
	(2) 利用の把握・分析	50	28	28	28	28
利用促進 小計		150	98	98	98	98
内容評価点 (A)		800	535	543	543	543
価格評価点 (B)		200	200	200	200	200
加点 (C)		50	50	25	12.5	0
総合評価点 (A+B+C)		1,050	785	768	755.5	743

6 最優秀提案者の決定

市は、提案評価委員会の評価等を踏まえ、エリア①については「提案 15」、エリア②については「提案 31」、エリア③については「提案 47」、エリア④については「提案 55」を最優秀提案者として選定しました。

【最優秀提案者】

事業区域		最優秀提案者	
エリア	校区名		
①東区	美和台・和白東・三苫・和白	提案 15	株式会社アイシンを代表とするグループ
②南区	鶴田・老司・弥永西・弥永・日佐・野多目	提案 31	株式会社アイシンを代表とするグループ
③中央区・城南区	小笹・笹丘・長尾・田島	提案 47	株式会社アイシンを代表とするグループ
④城南区	片江・金山・七隈・南片江	提案 55	株式会社アイシンを代表とするグループ

【別紙】提案評価委員会における評価講評

(1) 内容評価の講評

【エリア①東区】

項目	小項目	評価講評
1. 実施体制	(1) 実施計画・体制	・ 提案 15 は、地域等と共働で主体的に取り組む計画のほか事業に係る従業員や乗務員の配置など安定的な運行が可能な体制が評価された。
	(2) 安全性確保	・ 提案 15 は、安全確保に関する研修の実施、事案に応じた対応体制が示された緊急時対応マニュアルが策定されている点が評価された。
	(3) 事業性確保	・ 提案 15 は、地域の企業からの協賛・広告料による運賃外収入を確保する仕組みや経費削減、またその取組み体制の構築が評価された。
	(4) システムの特徴・仕様	・ 提案 15 は、利用状況に応じたシステム運用、停留所の追加対応などシステムの柔軟性が評価された。
	(5) システムの実績	・ 提案 15 は、多数の導入実績が特に高く評価された。
2. 利便性向上	(1) 乗車受付	・ 提案 15 は、複数の人員と回線による電話やインターネットでの乗車受付方法が評価された。
	(2) 決済	・ 提案 15 は、現金に加え、クレジットカードや二次元コード決済など多様なキャッシュレス決済の採用が高く評価された。
	(3) 車両	・ 提案 15 は、利用者の快適性に配慮したユニバーサルデザインタクシー車両の導入が高く評価された。
	(4) 利便性向上策	・ 提案 15 は、既存公共交通との連携などの利便性向上の取組みが評価された。
3. 利用促進	(1) 利用促進策	・ 提案 15 は、運行地域専用パンフレットの制作、説明会開催による地域住民への周知、会報誌の発行やポイントカードの導入などによる利用促進の取組みが評価された。
	(2) 利用の把握・分析	・ 提案 15 は、システムを活用した利用者数等の把握や OD 分析に加えアンケートにより利用者の声を収集する提案が評価された。

【エリア②南区】

項目	小項目	評価講評
1. 実施体制	(1) 実施計画・体制	・ 提案 31 は、地域等と共働で主体的に取り組む計画のほか事業に係る従業員や乗務員の配置など安定的な運行が可能な体制や運行エリア内に営業所を有するなど地域に根差した運行が評価された。
	(2) 安全性確保	・ 提案 31 は、安全確保に関する研修の実施、事案に応じた対応体制が示された緊急時対応マニュアルが策定されている点が評価された。
	(3) 事業性確保	・ 提案 31 は、地域の企業からの協賛・広告料による運賃外収入を確保する仕組みや経費削減、またその取組み体制の構築が評価された。
	(4) システムの特徴・仕様	・ 提案 31 は、利用状況に応じたシステム運用、停留所の追加対応などシステムの柔軟性が評価された。
	(5) システムの実績	・ 提案 31 は、多数の導入実績が特に高く評価された。
2. 利便性向上	(1) 乗車受付	・ 提案 31 は、複数の人員と回線による電話やインターネットでの乗車受付方法が評価された。
	(2) 決済	・ 提案 31 は、現金に加え、クレジットカードや二次元コード決済など多様なキャッシュレス決済の採用が高く評価された。
	(3) 車両	・ 提案 31 は、利用者の快適性に配慮したユニバーサルデザインタクシー車両の導入が高く評価された。
	(4) 利便性向上策	・ 提案 31 は、既存公共交通との連携などの利便性向上の取組みが評価された。
3. 利用促進	(1) 利用促進策	・ 提案 31 は、運行地域専用パンフレットの制作、説明会開催による地域住民への周知、会報誌の発行やポイントカードの導入などによる利用促進の取組みが評価された。
	(2) 利用の把握・分析	・ 提案 31 は、システムを活用した利用者数等の把握や OD 分析に加えアンケートにより利用者の声を収集する提案が評価された。

【エリア③中央区・城南区】

項目	小項目	評価講評
1. 実施体制	(1) 実施計画・体制	・ 提案 47 は、地域等と共働で主体的に取り組む計画のほか事業に係る従業員や乗務員の配置など安定的な運行が可能な体制や運行エリア近くに営業所を有するなど地域に根差した運行が評価された。
	(2) 安全性確保	・ 提案 47 は、安全確保に関する研修の実施、事案に応じた対応体制が示された緊急時対応マニュアルが策定されている点が評価された。
	(3) 事業性確保	・ 提案 47 は、地域の企業からの協賛・広告料による運賃外収入を確保する仕組みや経費削減、またその取組み体制の構築が評価された。
	(4) システムの特徴・仕様	・ 提案 47 は、利用状況に応じたシステム運用、停留所の追加対応などシステムの柔軟性が評価された。
	(5) システムの実績	・ 提案 47 は、多数の導入実績が特に高く評価された。
2. 利便性向上	(1) 乗車受付	・ 提案 47 は、複数の人員と回線による電話やインターネットでの乗車受付方法が評価された。
	(2) 決済	・ 提案 47 は、現金に加え、クレジットカードや二次元コード決済など多様なキャッシュレス決済の採用が高く評価された。
	(3) 車両	・ 提案 47 は、利用者の快適性に配慮したユニバーサルデザインタクシー車両の導入が高く評価された。
	(4) 利便性向上策	・ 提案 47 は、既存公共交通との連携などの利便性向上の取組みが評価された。
3. 利用促進	(1) 利用促進策	・ 提案 47 は、運行地域専用パンフレットの制作、説明会開催による地域住民への周知、会報誌の発行やポイントカードの導入などによる利用促進の取組みが評価された。
	(2) 利用の把握・分析	・ 提案 47 は、システムを活用した利用者数等の把握や 0D 分析に加えアンケートにより利用者の声を収集する提案が評価された。

【エリア④城南区】

項目	小項目	評価講評
1. 実施体制	(1) 実施計画・体制	・ 提案 55 は、地域等と共働で主体的に取り組む計画のほか事業に係る従業員や乗務員の配置など安定的な運行が可能な体制や運行エリア近くに営業所を有するなど地域に根差した運行が評価された。
	(2) 安全性確保	・ 提案 55 は、安全確保に関する研修の実施、事案に応じた対応体制が示された緊急時対応マニュアルが策定されている点が評価された。
	(3) 事業性確保	・ 提案 55 は、地域の企業からの協賛・広告料による運賃外収入を確保する仕組みや経費削減、またその取組み体制の構築が評価された。
	(4) システムの特徴・仕様	・ 提案 55 は、利用状況に応じたシステム運用、停留所の追加対応などシステムの柔軟性が評価された。
	(5) システムの実績	・ 提案 55 は、多数の導入実績が特に高く評価された。
2. 利便性向上	(1) 乗車受付	・ 提案 55 は、複数の人員と回線による電話やインターネットでの乗車受付方法が評価された。
	(2) 決済	・ 提案 55 は、現金に加え、クレジットカードや二次元コード決済など多様なキャッシュレス決済の採用が高く評価された。
	(3) 車両	・ 提案 55 は、利用者の快適性に配慮したユニバーサルデザインタクシー車両の導入が高く評価された。
	(4) 利便性向上策	・ 提案 55 は、既存公共交通との連携などの利便性向上の取組みが評価された。
3. 利用促進	(1) 利用促進策	・ 提案 55 は、運行地域専用パンフレットの制作、説明会開催による地域住民への周知、会報誌の発行やポイントカードの導入などによる利用促進の取組みが評価された。
	(2) 利用の把握・分析	・ 提案 55 は、システムを活用した利用者数等の把握や OD 分析に加えアンケートにより利用者の声を収集する提案が評価された。

(2) 総評

提案評価委員会は、評価項目等に基づき、厳正かつ公正に評価を行いました。

応募者の提案内容は、本事業の趣旨を踏まえた、創意工夫が図られた提案でした。

また、提案書作成にあたっての努力についても高く評価しており、応募者の方々に敬意を払うとともに、深く感謝する次第です。

今後、提案評価委員会の内容評価の結果を踏まえ決定された最優秀提案者が本事業を実施するに際しては、提案内容を確実に実行して頂くのは当然のこと、本事業をよりよいものとするため、市や地域と十分な協議を行い、特に以下の点について留意してください。

- ・取組み地域ごとに特性が異なることを認識のうえ、地域と関係性を築き、それぞれのエリアに応じた運行を行うこと。
- ・持続的な生活交通となるよう事業性確保の取組みを行い、コスト意識をもった運行を心がけること。
- ・それぞれの地域や利用者のニーズ等を踏まえ利便性向上の取組みを行い、必要に応じて体制強化に努めながら、地域と共働し、より一層利用促進に取り組むこと。

最後に、豊富な実績とノウハウを有する最優秀提案者が、市と地域と良好な連携のもと事業に取り組まれることで地域の実情に応じた持続的な生活交通となることを期待します。